

災害医療について



令和7年7月3日(木)
静岡県中部健康福祉センター
(静岡県中部保健所)
地域医療課



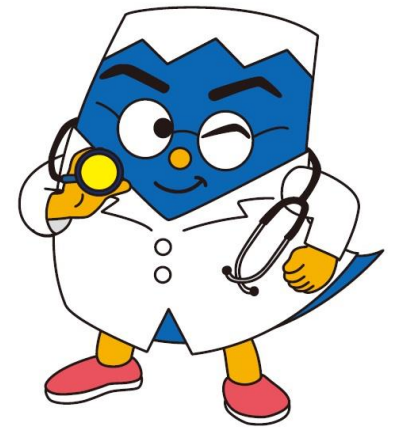
本日の説明

1 平常時の医療体制

2 災害時の医療体制



1 平常時の医療体制



(1) 藤枝市の医療体制

① 病院 藤枝市内:5病院

種別	病院名	許可病床
救急告示	藤枝市立総合病院	564床
	藤枝平成記念病院	199床
その他の病院	聖稜リハビリテーション病院	125床
	誠和藤枝病院	165床
	藤枝駿府病院	170床
合 計		1,223床

② 診療所 97カ所(企業・施設内診療所を除く)



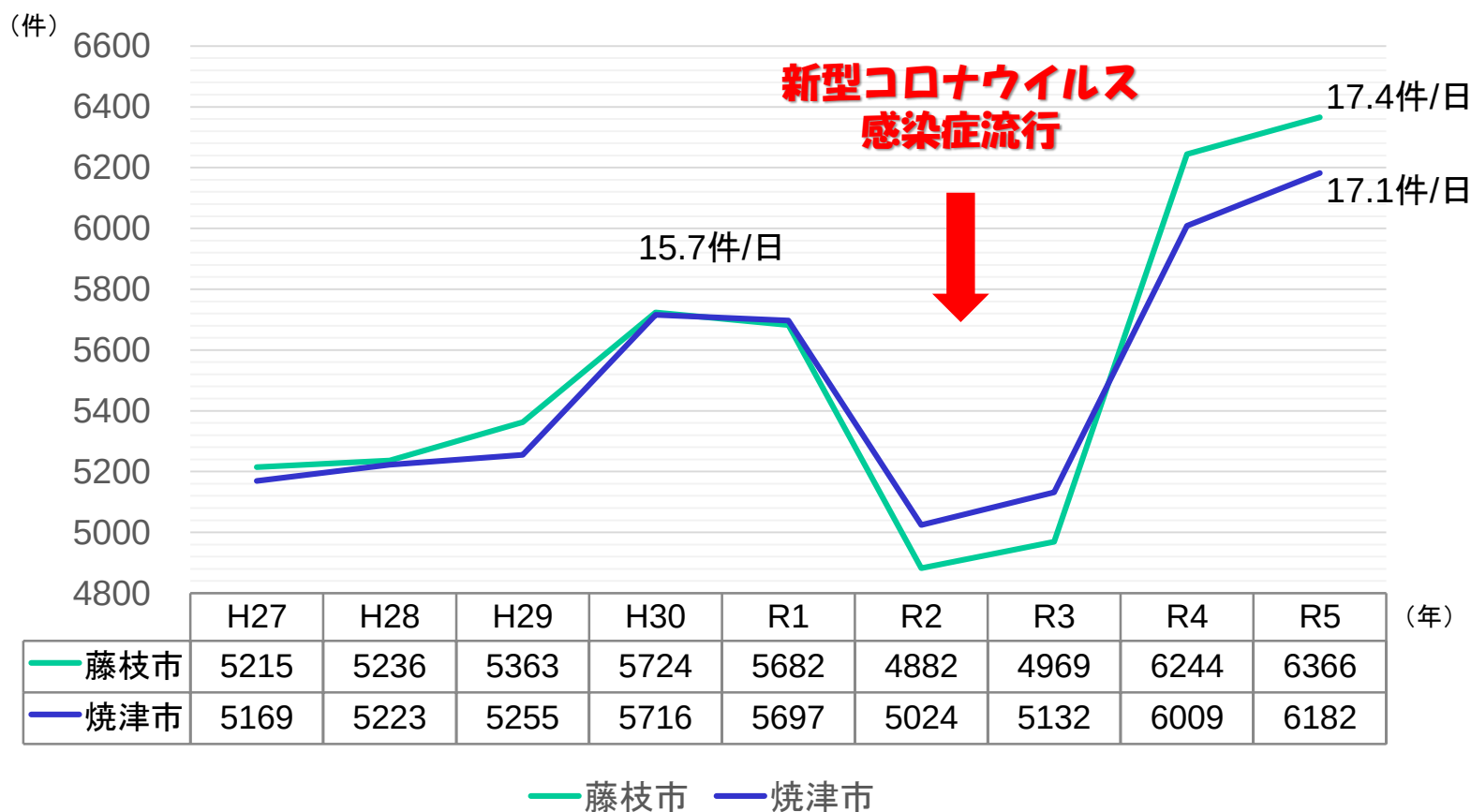
(2) 平時の医療体制

	受診機関	概 要
通常医療	かかりつけ医 (病院、診療所)	患者本人が選択して受診
	地域の基幹病院 (藤枝市立総合病院)	かかりつけ医の紹介により受診
初期救急	休日当番医	対象: 比較的症状の軽い患者 【休日】 9:00~17:00
	志太・榛原地域救急医療 センター(瀬戸新屋)	対象: 比較的症状の軽い患者 夜間の救急医療に対応 【平日】 19:30~22:00 【土日】 19:30~翌日7:00
2次救急 (入院救急医療)	藤枝市立総合病院 (救命救急センター)	対象: 入院や手術が必要な症状の重い 患者
3次救急 (救命医療)		対象: 重篤な救急患者



(3) 救急搬送の状況

(志太消防本部: 令和5年消防年報_出動件数)



(3) 救急搬送の状況

(志太消防本部:令和5年消防年報)

◇ 高規格救急自動車の配置数

藤枝市内消防署 5台

焼津市内消防署 5台

救急車の適正利用をお願いします。



2 災害時の医療体制



(1) 南海トラフ巨大地震の被害想定

第4次地震被害想定(地震動:基本ケース 夏・昼、早期避難率低)

ア 重傷者数

中部地域	約 14,000人
藤枝市	約 2,600人

イ 軽傷者数

中部地域	約 27,000人
藤枝市	約 3,100人

※ 重傷者:災害により負傷し、医師の治療を受け、又は受ける必要のある者のうち、1か月以上の治療を要する見込みの者

※ 軽傷者:災害により負傷し、医師の治療を受け、又は受ける必要のある者のうち、1か月未満で治療できる見込みの者



(1) 南海トラフ巨大地震の被害想定

第4次地震被害想定(地震動:基本ケース)

ア 救急搬送充足率 藤枝市: **3%**
(救急車:5台 搬送需要者数:約2,600人)

イ 日常受療困難者数 藤枝市:約 **3,700人**
(入院:約300人 外来:約3,300人)

※ 日常受療困難者数とは・・・地震による医療サービスの低下(建物自体の損壊や火災などの影響による医療機能の低下)によって医療制約を受ける患者の数

【静岡県第4次地震被害想定 静岡県ホームページURL】

<https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/1040810/1029868.html>



南海トラフ巨大地震が発生したら . . .

- **119番通報しても、救急車は来ない。**
- **病院は患者であふれかえってしまう。**
(病院建物の被害、医療スタッフの被災)
- **市や県に助けを求めても、すぐには来ない。**
(道路状況、人材不足、車両の確保等の諸問題)
- **医薬品、医療物資が不足する。**

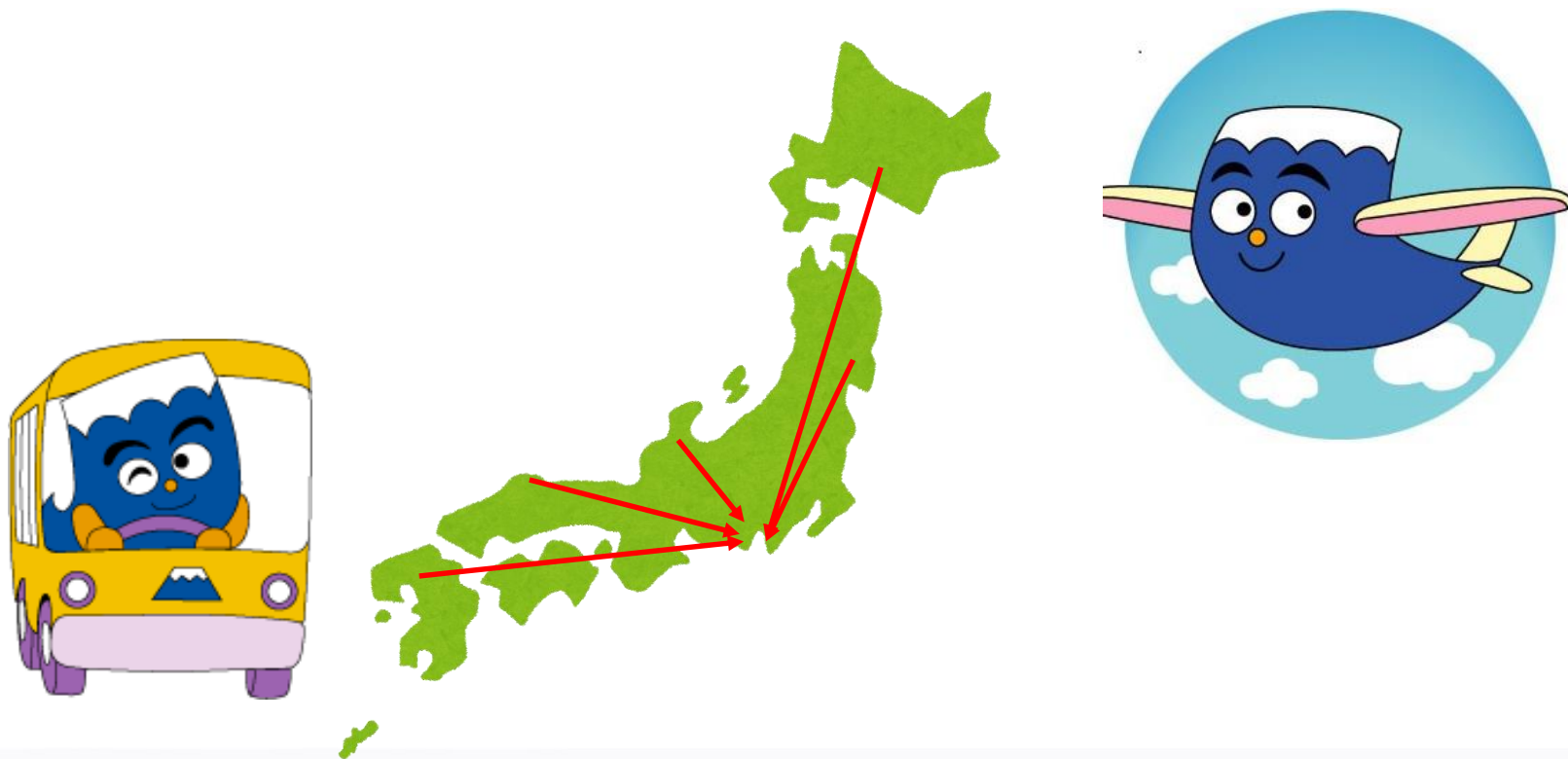


南海トラフ巨大地震が発生したら . . .



**通常の医療体制は
成り立たない。**

**全国から、応援部隊・チームが助けに
来てくれるから、大丈夫でしょ？**



国の応援計画（南海トラフ地震対応）が定められています

しかし、

本県から宮崎県までの広範囲にわたり被害を受けるため、

被災地外からの限られた応援部隊・チームを被災地に分配・派遣することになる。



静岡県に派遣される応援部隊・チームは

少ないかもしれな

い

大規模災害が発生



需要と供給のバランスが崩れる。

医療スタッフや医薬品が不足する。

**限られた資源をどのように
使うか？**



「静岡県医療救護計画」

を策定。

南海トラフ巨大地震や

台風、局地的な豪雨等、

災害時の医療救護体制や

他都道府県への応援体制

等を定めている。

静岡県医療救護計画



2019年4月

静岡県健康福祉部

静岡県ホームページ「静岡県医療救護計画」

<http://www2.pref.shizuoka.jp/all/sinsei.nsf/04.html/529C9CDAB337EAE2492583AF000A5183>

医療救護計画の基本的な考え方

地域住民 の役割

自らの命は自ら守る、自らの地域は皆で守るを基本として、家庭救護、自主防災組織による相互扶助体制を確立

市町 の役割

直接地域住民の生命、健康を守るため、市町医療救護計画を策定し、大規模災害時に地域住民の協力の下、医療救護活動を実施する。

県 の役割

国及び他の都道府県と連携し、市町で対応できない広域的な医療救護活動を実施する。



医療救護計画の基本的な考え方

＜医療救護の対象者の区分＞

重症患者	生命を救うため、 <u>直ちに手術等の入院治療を必要とする者</u>
中等症患者	多少治療の <u>時間が遅れても生命に危険はないが、入院治療を要する者</u>
軽症患者	上記以外の者で医師の治療を必要とする者



医療救護計画の基本的な考え方

＜医療救護施設の区分＞

災害拠点病院	重症患者の受入れ
災害拠点 精神科病院	被災精神科病院の患者、医療救護施設等で対応困難な精神疾患等患者の受入れ
救護病院	中等症、重症患者の受入れ
救護所	軽症患者の受入れ

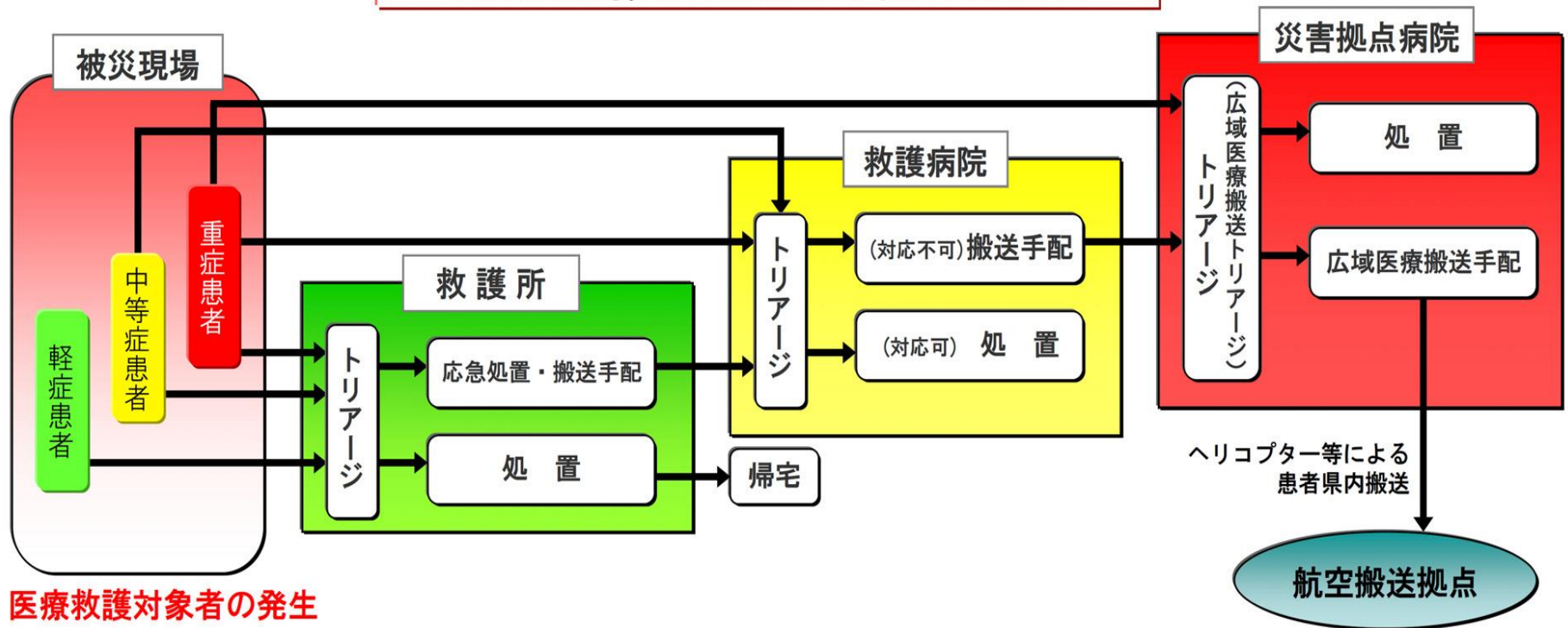


医療救護施設の施設数

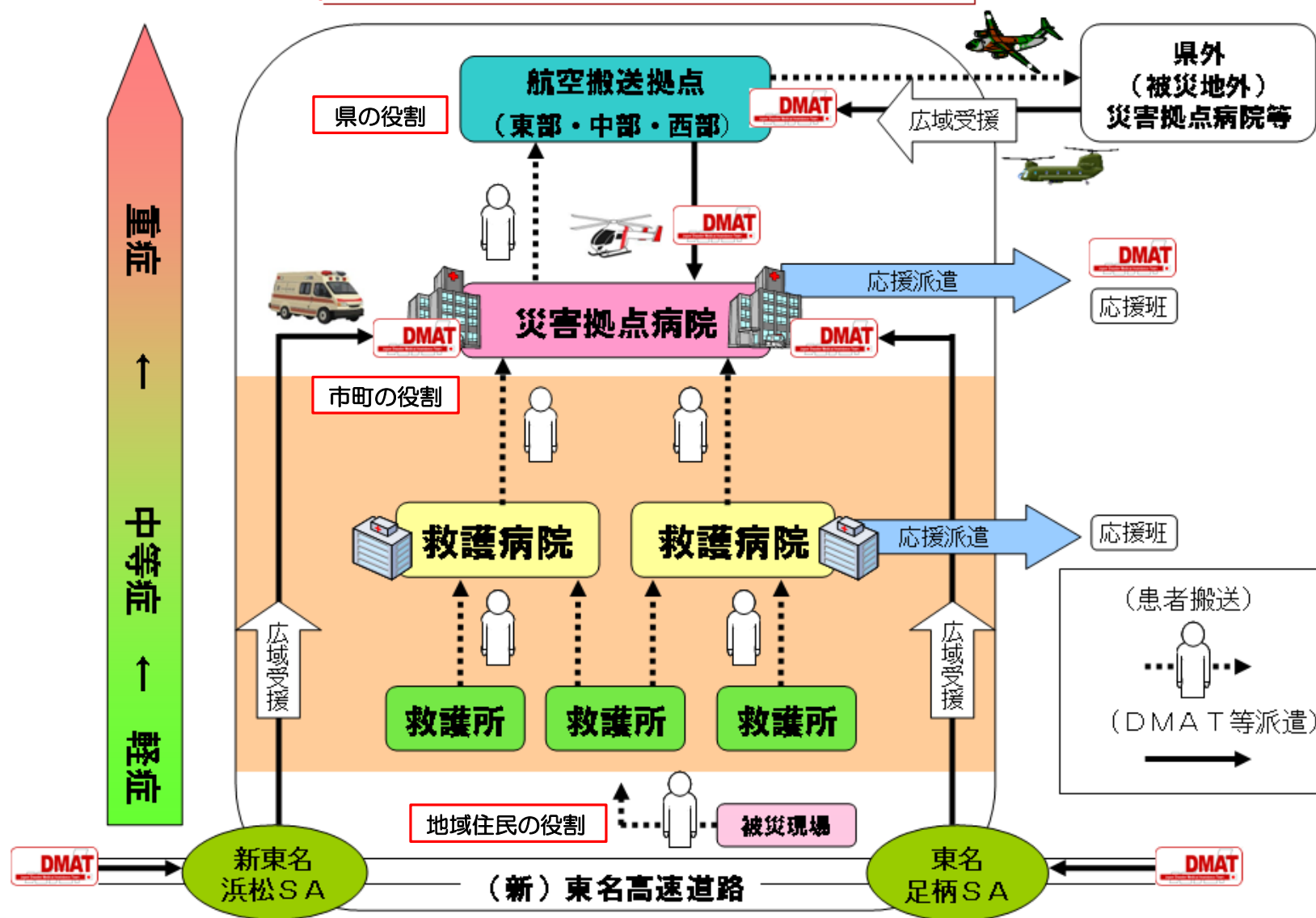
	県内	藤枝市内
災害拠点病院	23力所	1力所（藤枝市立総合病院）
災害拠点 精神科病院	4力所	0力所
救護病院	85力所	2力所 （藤枝市立総合病院 藤枝平成記念病院）
救護所	326力所	主要救護所4力所 臨時救護所10力所



医療救護対象者の受入体制



静岡県の災害医療体制



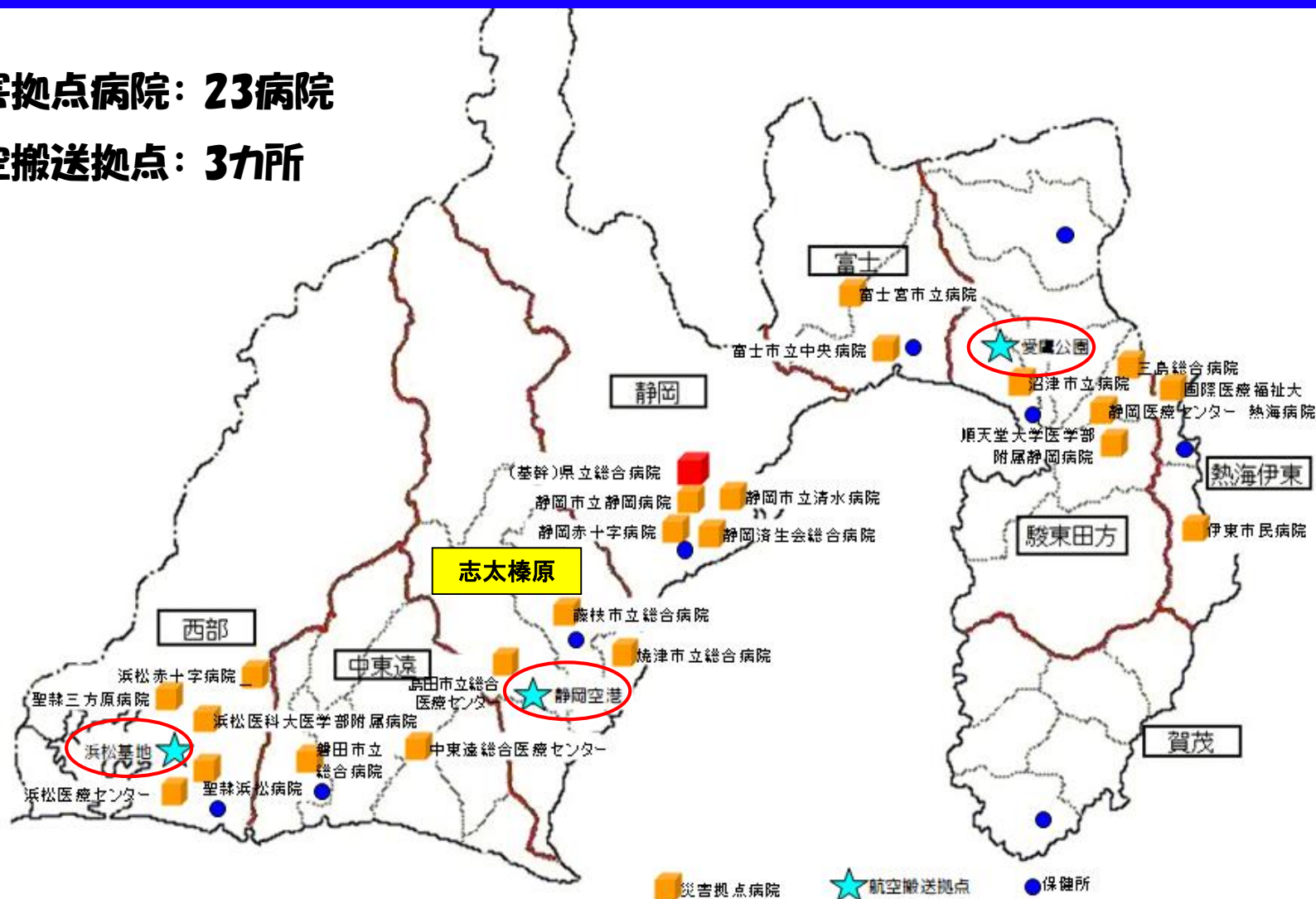
重症患者は**県内**3カ所の航空搬送拠点から、自衛隊機（固定翼機、回転翼機）等で**県外**（被災地外）の災害拠点病院に搬送され、治療を受ける。



静岡県災害拠点病院・航空搬送拠点

災害拠点病院：23病院

航空搬送拠点：3カ所



大規模災害時は県外から様々な支援チームが来ます

【代表的な医療・福祉チーム】

DMAT	大地震等の災害の急性期(発生から概ね48時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた 災害派遣医療チーム
JMAT	日本医師会が発災から3日後くらいに被災地に派遣する 災害医療チーム 。現地の医療体制が回復するまでの間、地域医療を支える。
日赤救護班	災害対策基本法に基づき定めた「日本赤十字社防災業務計画」により、本社及び各都道府県支部に常備している 救護班
DPAT	大規模災害等の後、被災地域に入り、 精神科医療及び精神保健活動を行う専門チーム
AMAT	全日本病院協会が災害亜急性期に派遣する 医療チーム
DWAT	大規模地震等の発生時に、要配慮者への福祉的ニーズに対応するために構築した 災害派遣福祉チーム
JRAT	大規模災害時に、災害弱者や障害者、高齢者などが自立生活を再建できるよう リハビリテーション支援を行うチーム
JDA-DAT	大規模災害時に、被災地での栄養、食生活支援活動を行う 日本栄養士会災害支援チーム



能登半島地震でも・・・

多くの医療・保健・福祉チームが能登半島地震の支援に入りました。避難所や個人のお宅に訪問して、健康支援などを行いました。



【穴水町内避難所】

応援保健師・栄養士チーム
が避難所の住民(役員)から
食事の内容などの話を
聞いている様子



【穴水町内】

消息がわからない高齢者
のお宅を静岡県保健師が
訪問している様子



【穴水町保健センター】

応援に入っている保健師・
栄養士チーム、JMAT、
DWAT等がミーティングして
いる様子

富国有徳の理想郷－しずおか

ふじのくに

大規模災害時は県外から様々な支援チームが来ます

これらのチームは、救護所その他、避難所、被災地域（個人のお宅）等に入り、ニーズに応じた医療・福祉的な支援を行う。

- 見知らぬ人が支援に入ってる。
→ **いろいろな人が災害支援に関わることを**事前に知っておきましょう。
- 県外から来るため、地理や地域の習慣・風土など知らない状態で支援に入る。
→ 尋ねられたら、**地域のことを教えて**あげてください。
- 熊本地震では支援チームが集中（局所災害のため）し、被災者も受入行政職員も“支援疲れ”の状態になった。
南海トラフ巨大地震では、九州から静岡県にかけての広域災害となるため、逆に支援があまり来ないかもしれない。
→ まずは**自助・共助を基本**とし、必要な人が必要な支援を受けられるような地域づくり・行政との連絡体制づくりをしましょう。



災害時、心配される “災害関連死”

「災害関連死」という言葉を聞いたことはありますか？

【直接死】

家屋・家具の倒壊・転倒や土砂崩れ、津波などが直接的な原因となって死亡したもの。



【災害関連死】

災害による負傷の悪化又は避難生活等における身体的負担による疾病により死亡し、法律により、災害が原因で死亡したものと認められたもの。



最近の地震災害での“災害関連死”

災害名	死者(直接死)・行方不明者数	災害関連死者数
阪神・淡路大震災	6,434人	約900人
東日本大震災	22,000人以上	3,808人
熊本地震	50人	223人
令和6年 能登半島地震	229人	343人

- 災害関連死のうち、多くは高齢者
- 災害関連死の約8割が、発症後3か月以内に亡くなっている。

地震によるショックや不慣れな避難生活による肉体的・精神的ストレスが、「災害関連死」に大きく影響している。



災害時、心配される “災害関連死”

「災害関連死」の例

- 避難中の車内で、疲労による心疾患で死亡
- 地震後の疲労等による心不全で死亡
- 慣れない避難所生活から肺炎状態になり、入院先の病院で死亡
- エコノミークラス症候群の疑いで死亡
- 地震による栄養障害、持病の悪化等により死亡
- 地震のショック、余震への恐怖が原因で急性心筋梗塞で死亡



災害時、心配される “災害関連死”

「災害関連死」の原因と背景

- 避難所や避難生活のストレス
- 持病の悪化
→ 医療情報の把握、薬のストック
- エコノミークラス症候群
→ からだを動かす！
- 避難生活による「り患」
→ 避難所など生活環境の改善



皆さんに改めてお願いしたいこと

大切な命を守るために・・・

被災場所から救護所までの搬送は、原則として、ご家族や自主防災組織、消防団など、地域の皆さんが行うことになっています。

皆さんの地域（自治会）で、災害時にけがをした人を

誰が、どのような方法で救護所まで搬送するかを具体的に話し合い、決定し、いざという時のための**準備**をお願いします。

① 誰が



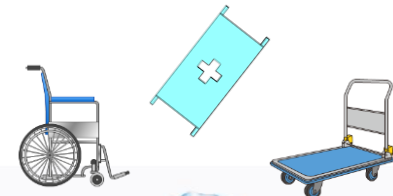
富国有徳の理想郷ーしずおか

ふじのくに

② 搬送方法



③ 事前の準備



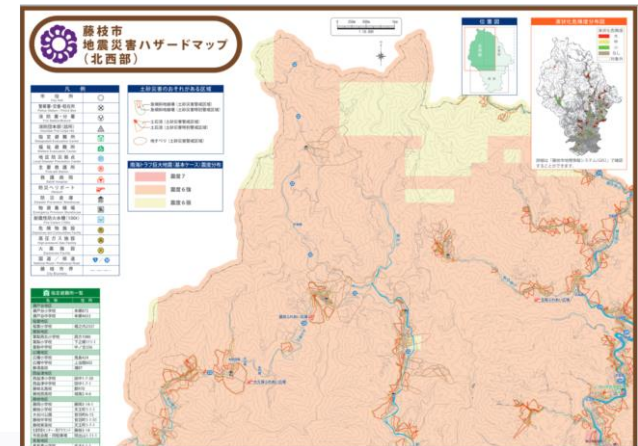
皆さんに改めてお願いしたいこと

皆さんの住まいの地域ではどのような被害が起こる可能性があるのか、

- ① ハザードマップなど
- ② 自宅や自宅周辺、通勤・通学経路での危険箇所を実際に見て回る

家族や周りの方と確認し、**危険を回避する方法を話し合い**ましょう。

【藤枝市ハザードマップ】



皆さんに改めてお願いしたいこと

大切な命を守るために・・・（災害関連死を防ぐために）

- 避難所では、お互い声を掛け合って体を動かしたり、具合の悪そうな方がいたら、避難所運営職員に伝えてください。
- 在宅避難している場合、隣り近所の人同士で声を掛け合ってください。
特に一人暮らしの方がいる場合は、時々お声掛けをお願いします。
- 災害や避難生活は、知らず知らずのうちに大きな身体的・精神的ストレスがかかってきます。
体調が悪くなったり、精神的に落ち込んだり、いつもと違うなと感じたら、すぐに支援者（避難所運営職員、保健師、県外からの応援職員、民生委員等）に声をかけてください。



皆さんに改めてお願いしたいこと

大切な命を守るために・・・（災害関連死を防ぐために）

災害による心的ストレスに注意する

状況	ポイント
超急性期（発災直後～数日）	安全・安心・睡眠の確保
急性期（1週間～1か月）	お互いに支え合う・協力する
中期（1～3か月）	心的外傷後ストレス障害やうつ病、アルコール依存症などに注意
復興期（3か月以降）	心理的支援を提供しつつ、生活再建を支援

※こどもや要支援者・支援者（救助者）の心的ケアにも留意

出典：NHK健康チャンネル（筑波大学高橋晶准教授）



命の危険から身を守るために・・・

南海トラフ巨大地震における「藤枝市で想定される被害」を知っておきましょう。

内陸部の藤枝市では、

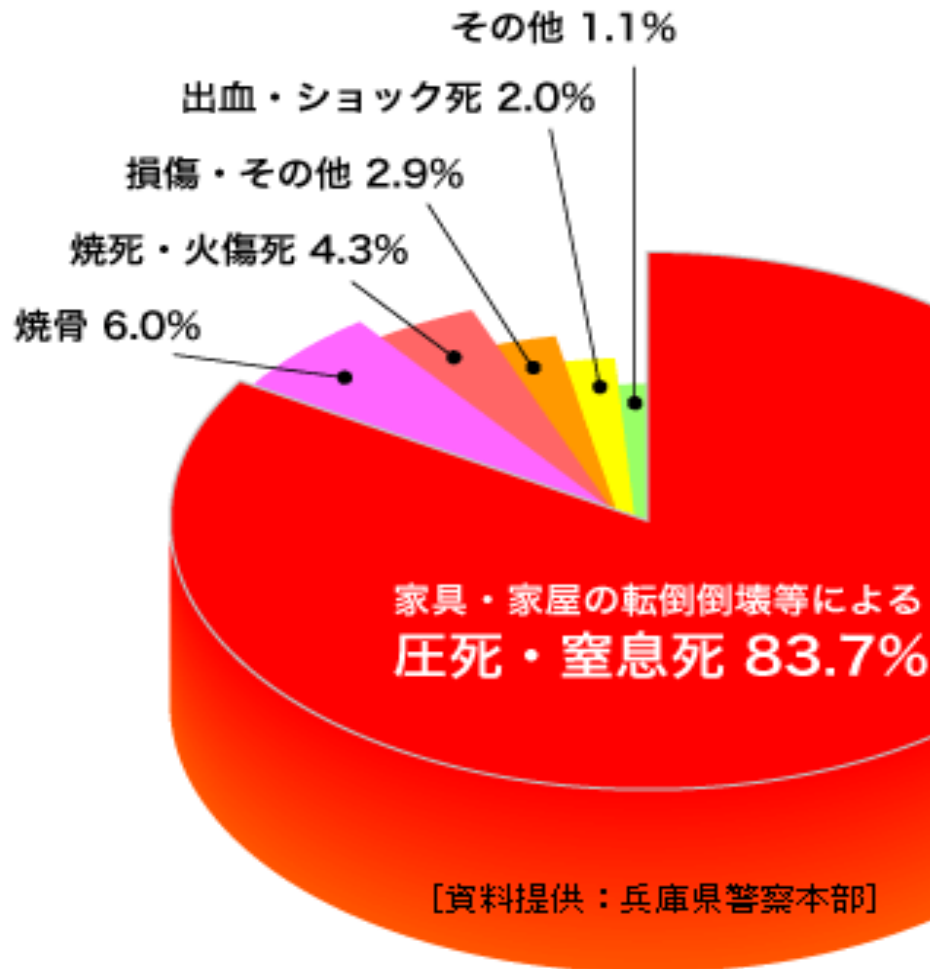
強い揺れ(震度7～震度6弱)に見舞われる。



- 古い**家屋**・建物(昭和56年以前に建設された旧耐震基準の木造家屋)が**倒壊**する可能性あり。
- 固定していない**家具**や**家電**が転倒する。
- 耐震対策を施していない**ブロック塀**が**倒壊**する可能性あり。
- 強い揺れにより**崖崩れ**が発生する可能性あり。
- 通電火災など、**火災**が発生する可能性あり。



阪神・淡路大震災における死因



発生日	1995年1月17日
	午前5時46分
規模	M7.3
最大震度	震度7
死者	6,434人

死者の9割は
6時までに
亡くなっている
= **即死**

皆さんに改めてお願いしたいこと

何よりも、

自分の身は自ら守り、大きなけがを負わない ために

日ごろから、**災害への備え** をしておきましょう。

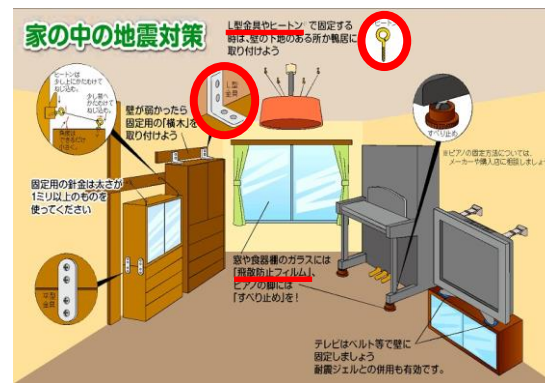
【自宅の耐震化】

【家具の固定】

【非常持出し品の準備】



木造住宅の耐震化
「TOKAI-O」



**地域の防災のリーダーとして、
皆さんが地域防災力の向上のため
にご活躍されることを
心から期待しております。**

